

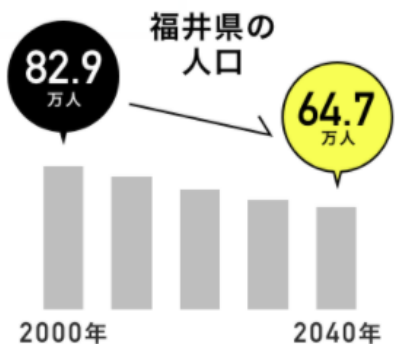


— 令和3年度事業概要 —  
福井県地域戦略部未来戦略課

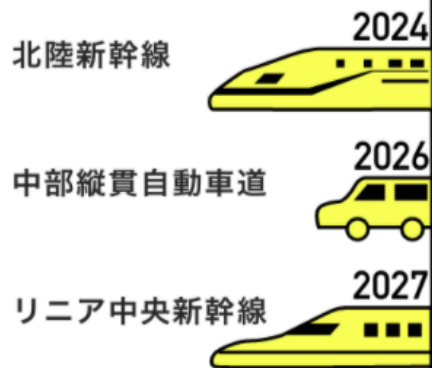
# 事業の背景 ～将来的な福井の変化～

- 福井県では今後、新幹線などの高速交通網の整備によって立地条件が向上します。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、地方への企業移転・移住の流れが生まれてくるなど都市と地方の関係が変容している中、福井の豊かな生活環境(自然・食・日本一の教育等)や全国トップレベルの働きやすさは、都市部から人を呼び込む際の強みになることが期待されます。
- 一方、人手不足や持続可能な地域経済の確立といった地方共通の課題があります。さらに、雪害などの自然災害、全国トップの車社会における将来の地域交通の確保といった福井県ならではの課題も存在しています。

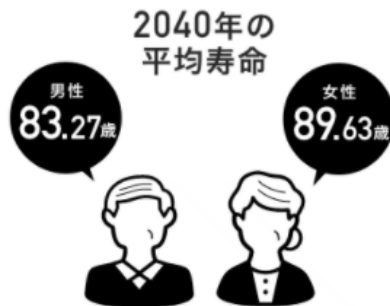
## 人口減少



## 大交流化



## 長寿命化



## 技術革新

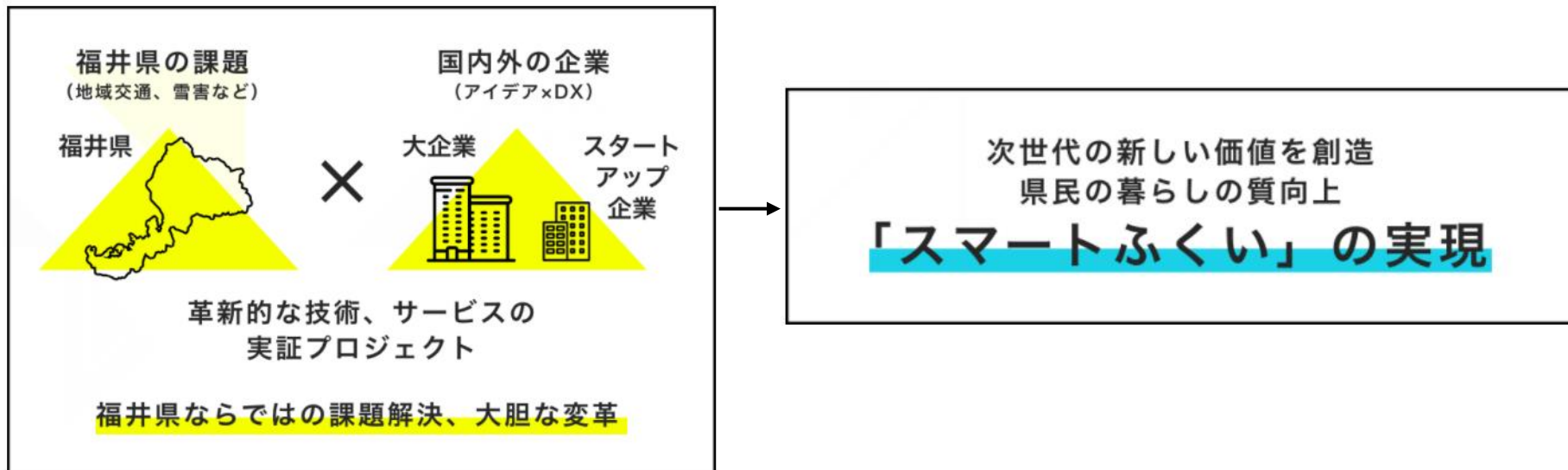
産業や生活の質が飛躍的に向上








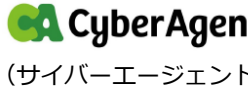
**コロナ禍による非接触・分散型社会への対応  
(ニューノーマルの生活様式)**

# 事業をとおして目指すこと

- 福井県は、デジタル技術等を積極的に活用し、仕事や暮らしを生産性高く、より魅力的で豊かなものへと変革していく「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」を推進し、県民の暮らしの質を高める「スマートふくい」の実現を目指しています。
- 「CO-FUKUI 未来技術活用プロジェクト」では、国内外の企業の革新的な技術・サービスの実証プロジェクトを誘致することで、地域課題の解決が行われ、福井を大胆に変革し、次の時代に新しい価値を創造することを目的とします。
- さらに、プロジェクトを通じて未来技術を活用できる人材が育成・輩出され、福井の魅力がさらに新たな人を呼び込み、県民の誰もが安心して暮らしを楽しみ、県民の誇りとなる「福井モデル」の確立につながることを目指します。



6つのプロジェクト(実証実験)が、県内各地で始まります。(※関係機関と調整次第、順次開始予定)

	分野	提案内容	実証を通じて解決を目指すこと
 おてつたび	農林水産 観光	地域と若者のマッチングプラットフォーム (福井県に人が来る仕組みの創出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宿泊施設や農家等の人手不足解消</li> <li>● 地域や事業者のファン化・交流人口の増加</li> </ul>
 BEBRIDGE (ビーブリッジ)	観光	ARによる道案内とスポット情報シェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ARナビにより地域のおすすめスポットへの回遊促進</li> <li>● 外部メディア/ECサイトと連携した観光情報充実</li> </ul>
 DoctorMate (ドクターメイト)	健康福祉	介護施設向け夜間オンコール医療相談 夜間救急搬送時の夜勤スタッフ同伴削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療者の事前判断から、消防・病院への軽症搬送削減</li> <li>● 救急同伴不要化による介護施設職員の負担軽減</li> </ul>
 A10 Lab (エーテンラボ)	健康福祉	親子でのフレイル予防プログラム (運動習慣化とコミュニケーションをパッケージ化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ禍での高齢者の心理的・社会的フレイル進行の抑止</li> <li>● バランスのとれた食事・運動習慣の定着</li> </ul>
 Spectee (スペクティ)	防災	ビッグデータAI分析による 大雪時の車両滞留早期検知と除雪状況判別	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車の走行データ(走行位置、車速)や路面の凹凸をAI分析</li> <li>● 車両滞留の早期検知・除雪状況を可視化した除雪対策</li> </ul>
 CyberAgent (サイバーエージェント)	広報広聴	行政HPのデータ解析を通じた HP最適化・政策ニーズ分析(ダッシュボード構築)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HP等の県有データ及び検索クエリ解析</li> <li>● 潜在的政策ニーズの掘り起こし・効果的なメッセージ発信</li> </ul>